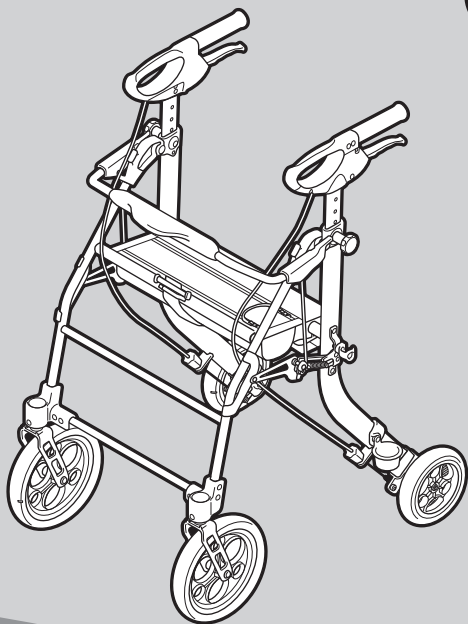


安^{あんじゅ}寿

歩行車 イコットエアM

取扱説明書

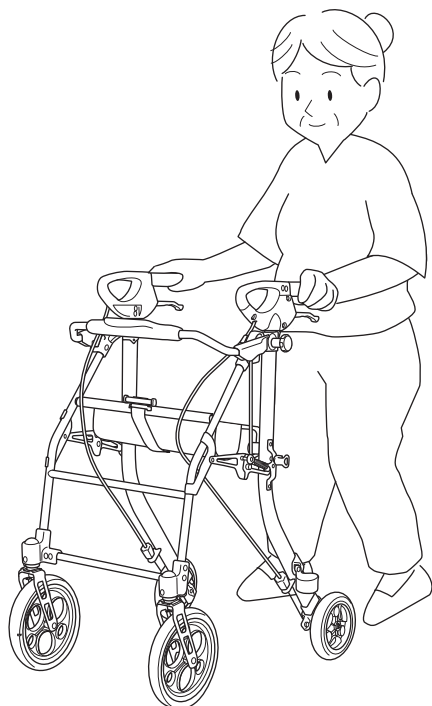


最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



- ・この製品は、主として自力での歩行が困難な方の歩行を補助する歩行車です。
身体状況が不安定な方は、同伴者の付き添いのもとで使用してください。
- ・ご使用の際には、専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士など）に相談してください。

保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

確認しましょう



確認しましょう P. 2～3

- ・梱包品の確認……………2
- ・各部の名称……………2
- ・商品の寸法図と仕様……………3

安全上のご注意



安全上のご注意 P. 4～8

ご使用前に



ご使用前に P. 9～11

- ・本体を開きましょう……………9
- ・杖ホルダー上/下を固定しましょう……………10
- ・ハンドルグリップの高さを調節しましょう……………10～11

使いましょう



使いましょう P. 12～18

- ・操作方法
 - ブレーキのかけかた……………12
 - 駐車ロックのかけかた……………12
 - 杖の固定のしかた……………12
 - 折りたたみかた……………13
 - フックの使いかた……………13
 - 座面の座りかた……………13～14
 - 持ち上げかた……………15
- ・ご使用になる前に確認しましょう(点検) ……16
 - 押して歩くとき……………17
 - 腰かけるとき……………17
- ・ご使用いただける環境について……………18

お手入れしましょう



お手入れしましょう P.19～21

- ・お手入れのしかた……………19～21

困ったときには



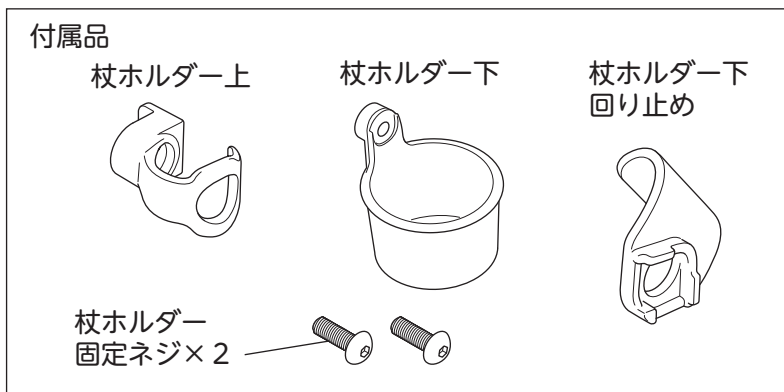
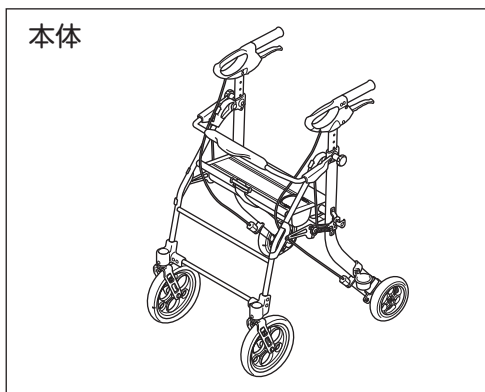
困ったときには P.22～23

- ・保証とアフターサービス……………22～23

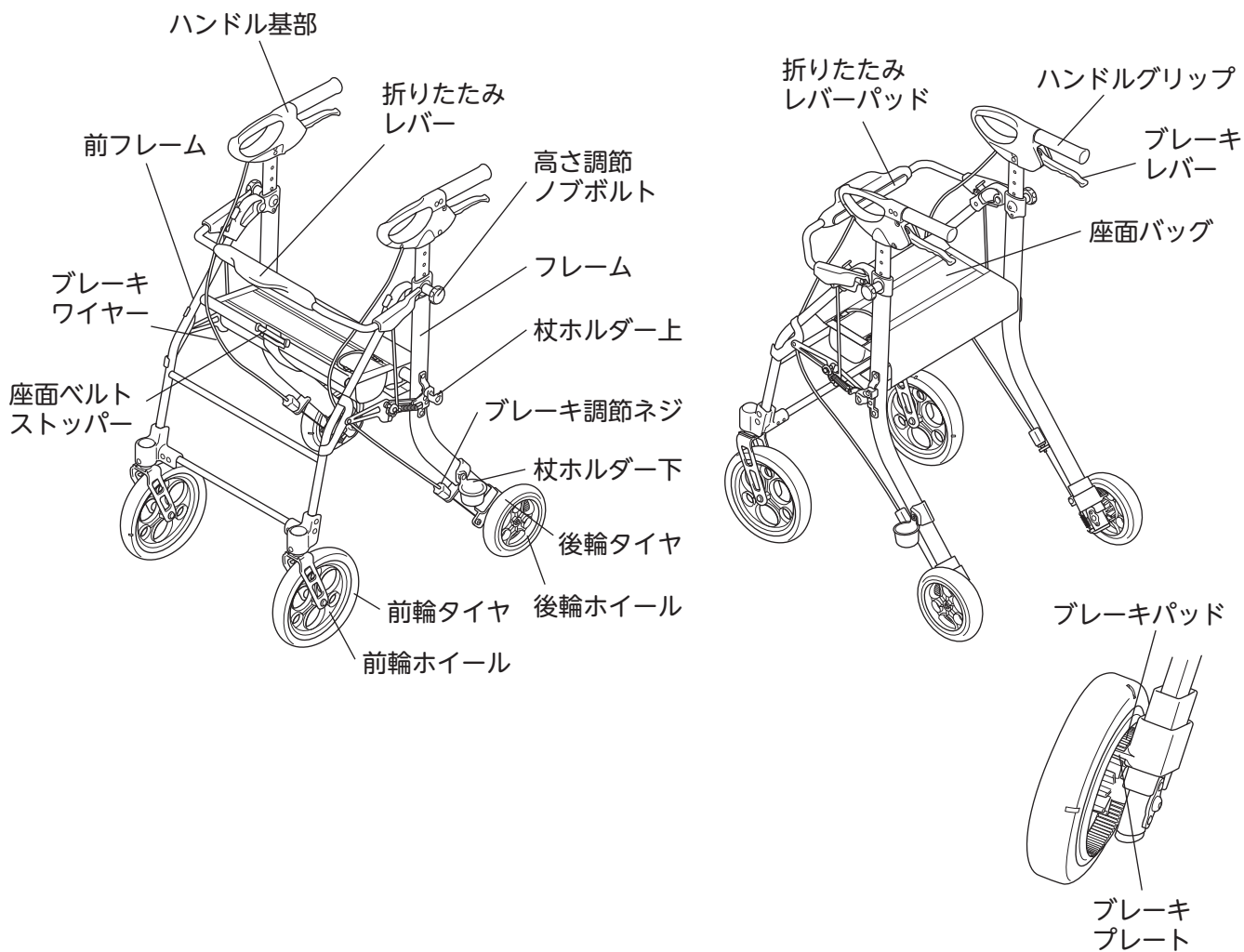
☝ 確認しましょう

梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下表を見ながら確認してください。



各部の名称



☝ 確認しましょう

! 安全上の注意

✖ ご使用の前に

👉 使いましょう

👉 お手入れしましょう

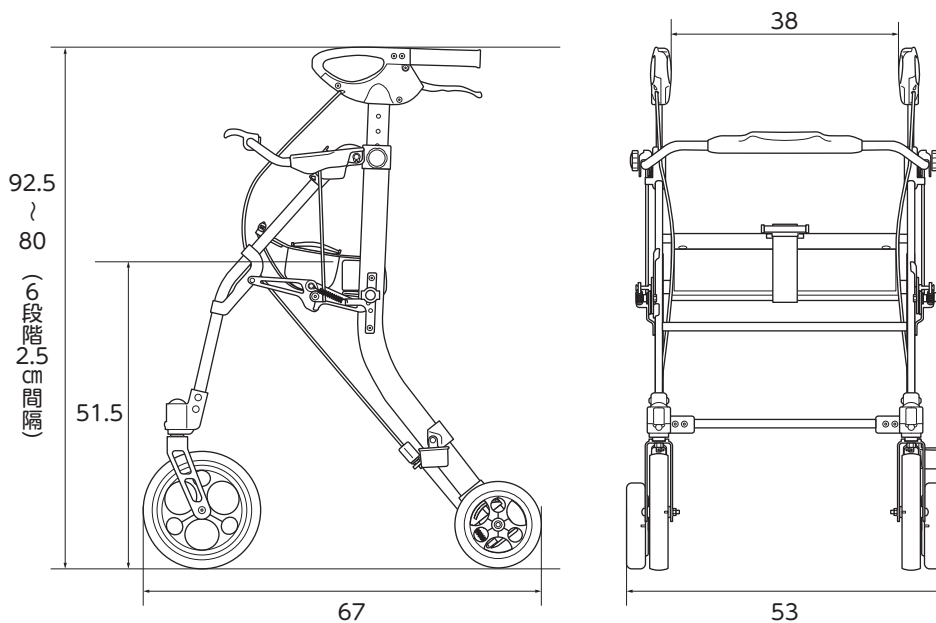
? 困ったときには

👉 確認しましょう

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



仕様

品名	歩行車 イコットエアM	
	部品名	材質
構成部材	座面バッグ	ポリエステル、ナイロン
	フレーム	アルミニウム
	ハンドルグリップ	エラストマー
	折りたたみレバー・杖ホルダー上/下	ポリプロピレン
	タイヤ	EVA樹脂
商品サイズ	幅 53 × 奥行 67 × 高さ 80 ~ 92.5cm ハンドル高さ 80・82.5・85・87.5・90・92.5cm (6段階) 座面高さ 51.5cm	
商品重量	約 4.1kg	
バッグ容量	約 2.5L (載荷重：6kg 未満)	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

👉 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

🚫 ご使用前に

👉 使いましょう

💧 お手入れしましょう

❓ 困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

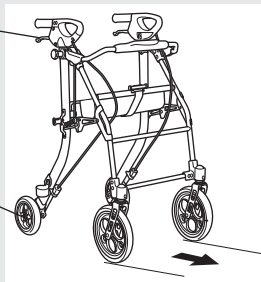
使用前に、必ず以下の作動を確認してください。転倒やけがの原因になります。

ブレーキ、駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

本体が勝手に動き出す原因になります。

各車輪がしっかりと固定され、スムーズに回転すること

歩行中に車輪が外れる原因になります。



ガタつきなくまっすぐに走ること

バランスをくずす原因になります。

駐車ロックして座面バッグに座り、ロックのきき具合を確認すること

使用前に、必ず以下の項目や、ゆるみや劣化がないかを確認してください。転倒やけがの原因になります。

タイヤおよびブレーキパッドに摩耗がないことを確認し、必要に応じて交換すること

・歩行中にガタつき、まっすぐに走ることができず、バランスをくずす原因になります。

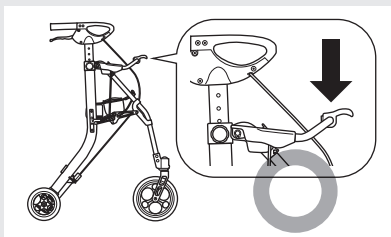
図解は…P.21「タイヤ交換時期の目安」へ

・ブレーキがきかずに転倒する原因になります。

図解は…P.21「ブレーキパッド交換時期の目安」へ

本体が開ききった状態を確認してから使用すること

段差を乗り越える際に、製品が折りたたまれ、転倒する原因になります。



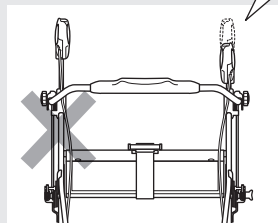
各部のネジやナットがゆるんでいないか確認すること

図解は…P.16「使用前に、必ず本体に異常がないかを確認してください」へ

ハンドルグリップの高さは左右同じ高さにする

ハンドルグリップの高さが左右で異なるとバランスをくずして転倒し、けがの原因になります。

ハンドルグリップの高さが異なる



ハンドルグリップの高さは規定の高さ(92.5cm)を超えずに設定すること

規定の高さ以上に設定すると、バランスをくずして転倒する原因になります。

本体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること

重大な事故につながるおそれがあります。

身体状況が不安定な方(ふらつきがある方や認知症の方)には、介助者が付き添うこと

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

? 困ったときには

！ 安全上のご注意



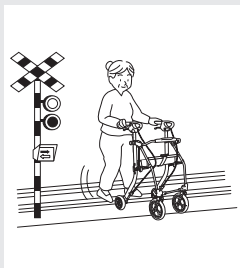
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

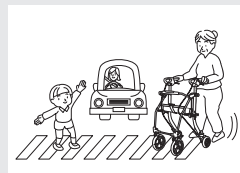
！ 必ず行うこと ！

以下の環境では十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

坂道、踏切の横断では十分に注意すること



交通の頻繁なところ、混雑しているところでは十分に注意すること



段差および溝のあるところでは十分に注意すること

段差の手前では必ず止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルグリップをとられったり、段差に乗り上がらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



夜間など、見通しの悪い環境では十分に注意すること



滑りやすい床での使用では十分に注意すること

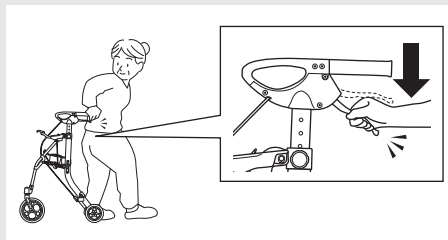
- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



以下の点に、十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

以下のときは必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること

- ・本体からはなれるとき
- ・座面バッグに座るとき
- ・座面バッグから立ち上がる時



本体が不意に動きださないよう、左右両輪が止まっていることを確認してください。

座面バッグに座るときは、ハンドルグリップに体が当り、本体が動きださないよう、注意してください。

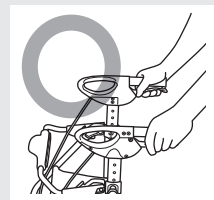
ハンドルグリップは両手で操作すること



片側のみを持って操作しない

ブレーキは左右同時にかけること

片側のみでブレーキをかけると、本体が転倒し、けがの原因になります。



駐車ロックは必ず左右かけること

片側のみで駐車ロックをかけると、本体が転倒し、けがの原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

以下の使いかたをすると、転倒やけがの原因になります。

折りたたみレバーに手や肘をつけて体を支えないこと

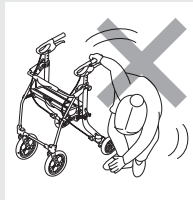
バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。また、過度な力が繰り返し加わると、折りたたみレバーが破損し、立ち座り時の転倒の原因になります。

折りたたみレバー



立ち座り時の手すり代わりにしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



ハンドルグリップに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと

本体が前に移動し、転倒やけがの原因になります。



ハンドルグリップ

折りたたみレバーを支えにして立ち座りしないこと

過度な力が繰り返し加わると、折りたたみレバーが破損し、立ち座り時の転倒の原因になります。



折りたたみレバー

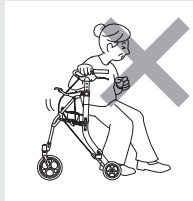
折りたたみレバーに過度に体を預けて寄りかからないこと

後方へ転倒する原因になります。



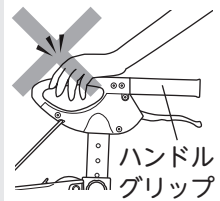
座面に浅く座らないこと また、座面以外のところには座らないこと

本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



ハンドルグリップ以外の場所を持って歩行しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



ハンドルグリップ

ブレーキレバーを握った状態で平地を歩行しないこと

タイヤの摩耗が早まり、ガタつきの原因になります。



ブレーキレバー

駐車ロックをかけた状態で歩行しないこと

タイヤの摩耗が早まり、ガタつきの原因になります。



ブレーキレバー

座面バッグに人を乗せたまま移動しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



踏み台として利用しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



座面バッグには6kg以上の荷物を入れないこと

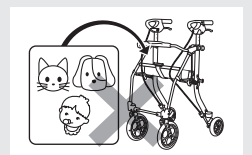
転倒や故障の原因になります。



6kg以上

座面バッグに乳幼児やペットを入れないこと

思わぬ事故の原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

体重が 100kg を超える方は使用しないこと

本体が破損するなどし、けがの原因になります。

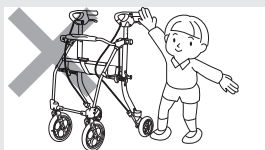


ハンドルグリップに荷物を吊るしたりしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



小さなお子様には使用させないこと



改造はしないこと また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

以下の環境では使用しないでください。転倒やけがの原因になります。

風の強い時は使用しないこと

本体が勝手に動き出す原因になります。



雨、雪の日など路面が滑りやすい時は使用しないこと



砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと



傾斜地では腰かけないこと

本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。

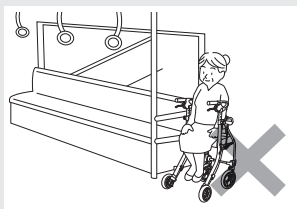


階段やエスカレーターでは使用しないこと

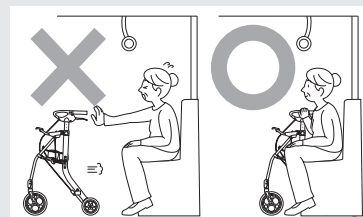


乗り物に乗るときは以下の行為を行わないでください。本体が転倒しけがの原因になります。

バス、電車などの乗り物内では腰かけないこと



バス、電車などの乗り物内では、本体から手を離さないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

フックを使用する場合は、袋を座面バッグに収め、袋の持ち手を必ず両方のフックに引っかけた状態で本体を押すこと

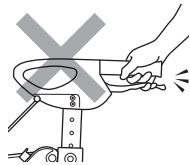
歩行中に、本体がバランスをくずして、転倒する原因になります。

詳しくは…P.13「フックの使いかた」へ

絶対にしないこと

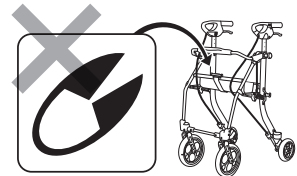
ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたままブレーキをかけないこと

指を挟み、けがの原因になります。



付属の座面バッグには鋭利なものを入れないこと

破損や故障の原因になります。



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



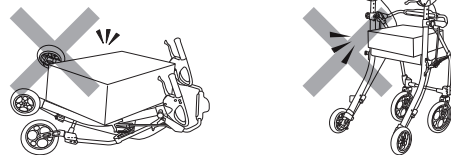
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いないこと

製品が破損する原因になります。

詳しくは…P.20「消毒方法」へ

荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと

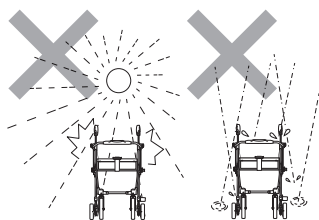
故障や変形の原因になります。



屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと

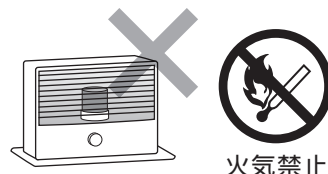
金属部がさびて故障の原因になったり、紫外線による色落ちの原因になります。

直射日光を避け、乾いたところ、風通しの良いところで保管してください。



火気に近づけないこと
また、夏季の車内など高温になる場所には保管しないこと

故障や変形の原因になります。



火気禁止

確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

ご使用の前に、下記の流れにそって杖ホルダーの取り付けやハンドルグリップの高さ調節を行ってください。

各部の高さ調節は、使う方の体格や立ち座り動作がしやすいようお買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。

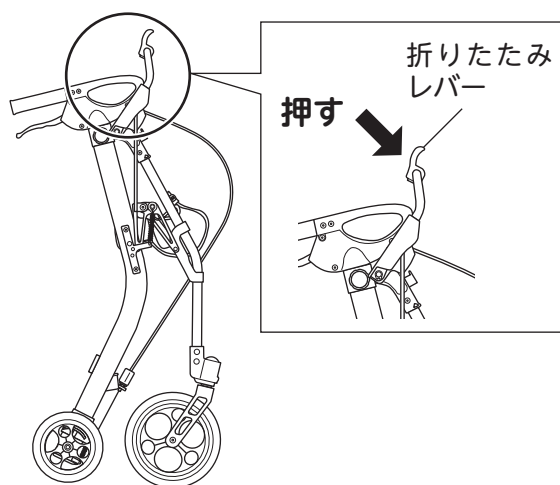
組み立て、および調節は確実にこなってください。



本体を開きましょう

1. 折りたたみレバーを押す

本体の後ろに立ち、片方のハンドルグリップを持った状態で折りたたみレバーを押して本体を開きます。



2. 本体が開ききったことを確認する

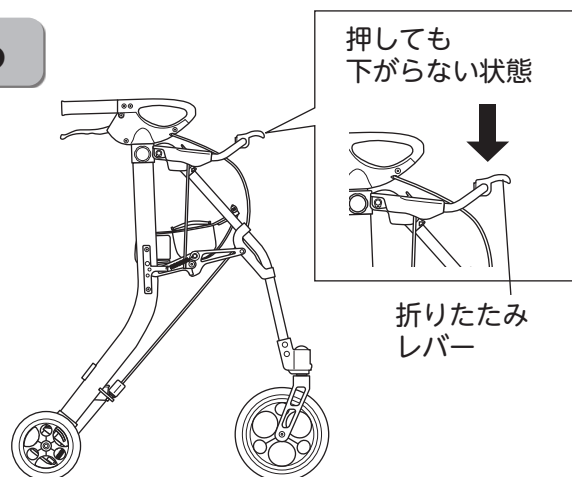
折りたたみレバーが下がらない状態になっていることを確認してください。

注意



本体が開ききった状態を確認してから使用すること

段差を乗り越える際に、製品が折りたたまれ転倒する原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

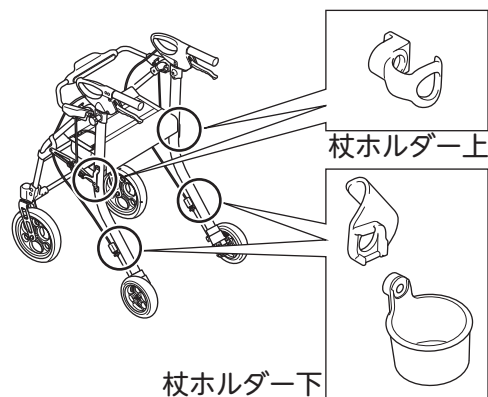
使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

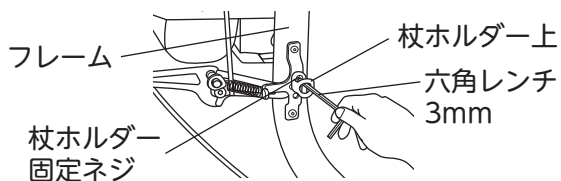
杖ホルダー上 / 下を固定しましょう

杖ホルダー上 / 下は左右のフレームに取り付けることができます。
必ず、杖ホルダー上 / 下が同じフレームに揃うように取り付けてください。



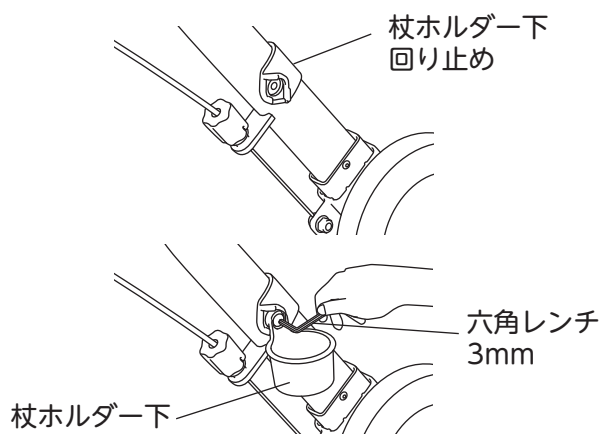
1. 杖ホルダー上の取り付けかた

杖ホルダー上 / 下を取り付けるフレームに杖ホルダー上を、付属の杖ホルダー固定ネジを使って、3mmの六角レンチで固定します。



2. 杖ホルダー下の取り付けかた

- ①杖ホルダー上を取り付けたフレームに、杖ホルダー下回り止めを取り付けます。
- ②杖ホルダー下を、杖ホルダー下回り止めに合わせ、付属の杖ホルダー固定ネジを使って3mmの六角レンチで固定します。

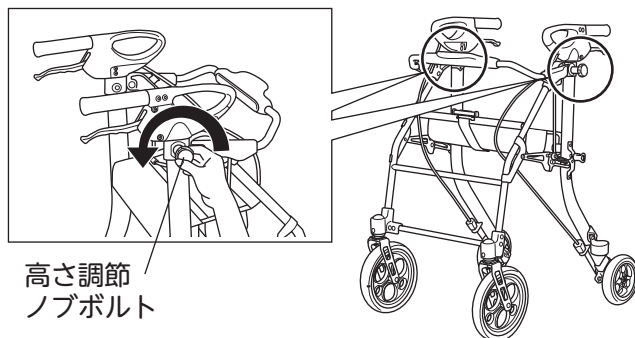


ハンドルグリップの高さを調節しましょう

ハンドルグリップの高さは (80 ~ 92.5cm 6段階) の範囲で調節できます。
出荷時は一番低い高さに設定されています。(一番低い高さ: 80cm)

1. 高さ調節ノブボルトをはずす

ハンドルグリップを固定している、高さ調節ノブボルトをゆるめて外します。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

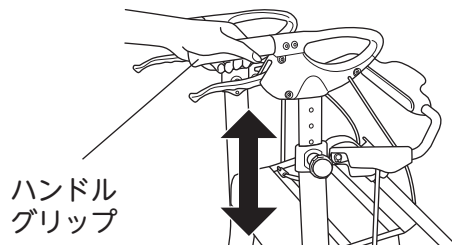
お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

2. ハンドルグリップの高さを調節する

ハンドルグリップをスライドさせ、使いやすい高さにあわせます。

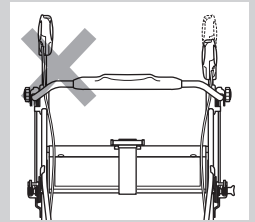


警告



ハンドルグリップの高さは左右同じ高さにすること

ハンドルグリップの高さが左右で異なると、バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



3. 高さ調節ノブボルトをしめる

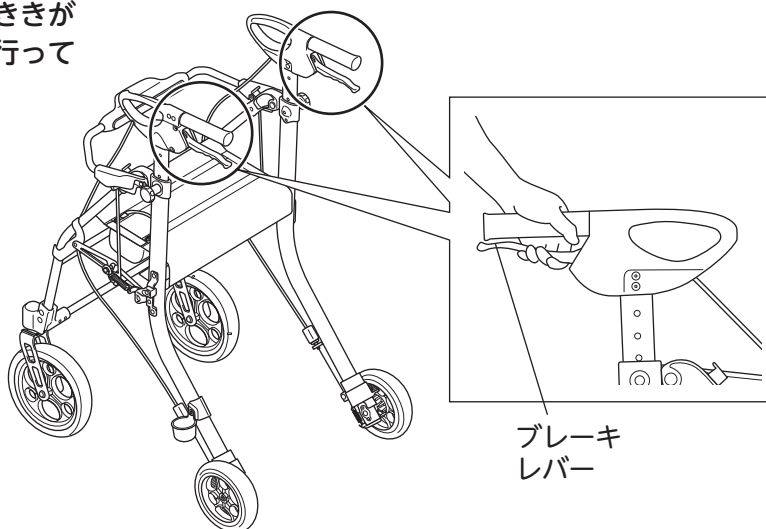
穴位置を合わせて、高さ調節ノブボルトを差し込み、締め込んで、ハンドルグリップを固定します。1～3の手順を左右のハンドルグリップで行い、ハンドルグリップの高さをあわせます。



4. ブレーキのききを確認する

ハンドルグリップの高さ調節を行った後に、ブレーキレバーを握って、ブレーキのききが弱いと感じた時は、ブレーキの調節を行ってください。

詳しくは…P.20「ブレーキの調節方法」へ



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

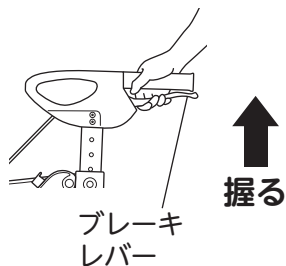
困ったときには

♡ 使いましょう

操作方法

ブレーキのかけかた

ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。
ブレーキは左右同時にかけてください。



警告



ブレーキは左右同時にかけること

片側のみでブレーキをかけると、本体が転倒し、けがの原因になります。

注意

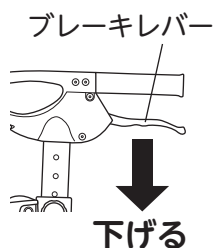


**ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたまま
ブレーキをかけないこと**

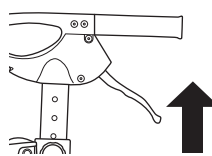
指を挟み、けがの原因になります。

駐車ロックのかけかた

左右両方のブレーキレバーを
手で押し下げます。



駐車ロックがかかった状態



※ブレーキレバーを上げると、駐車ロックが解除されます。

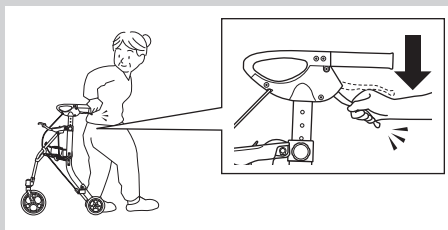
警告



以下のときは必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること

- 本体からはなれるとき
- 座面バッグに座るとき
- 座面バッグから立ち上がる時

本体が不意に動きださないよう、
左右両輪が止まっていることを確認してください。
座面バッグに座るときは、ハンドルグリップに体が
当り、本体が動きださないよう、注意してください。



杖の固定のしかた

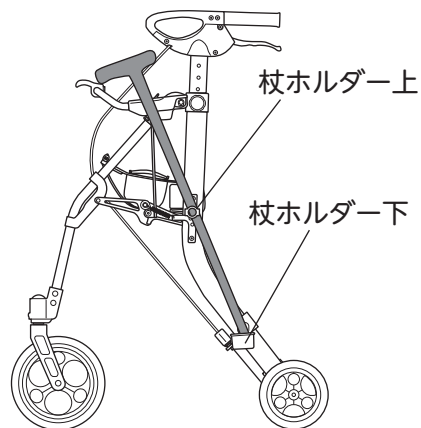
杖の先端を杖ホルダー下に入れて、杖ホルダー上に立てかけます。

注意



杖の先端は確実に杖ホルダー下に入れること

本体や後輪に挟まると歩行中にブレーキがかかり、
転倒するおそれがあります。



確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

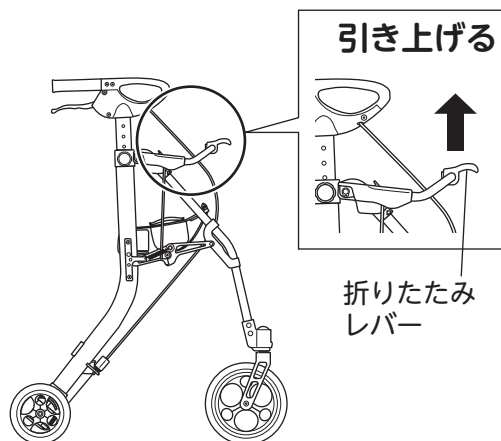
♡ 使いましょう

折りたたみかた

折りたたみレバーを引き上げると本体を折りたたむことができます。



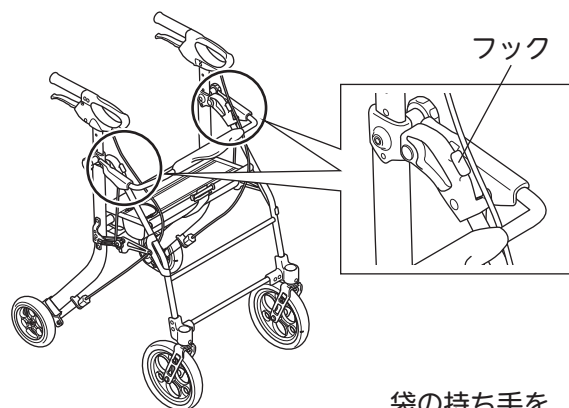
座面バッグの中に、たくさんの荷物を入れた状態で折りたたむと、折りたたみ状態を保持しないことがあります。その際は、折りたたむ前に、座面バッグの荷物を減らしてから、折りたたんでください。



フックの使いかた

少量の荷物を入れた袋を引っかけた状態で、本体を押すことができるフックが付いています。

- ①座面バッグのファスナーを開き、座面部分を袋の中に押し込みます。
- ②座面バッグの中に、買い物袋などを入れて、フックに袋の持ち手を引っかけます。



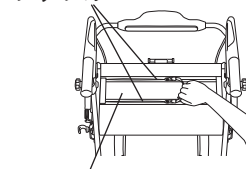
注意



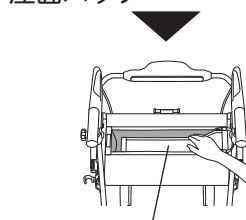
フックを使用する場合は、袋を座面バッグに収め、袋の持ち手を必ず両方のフックに引っかけた状態で本体を押すこと

歩行中に、本体がバランスをくずして、転倒する原因になります。

- ①ファスナー

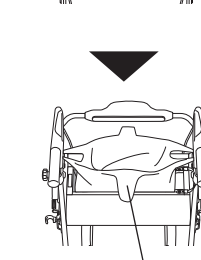
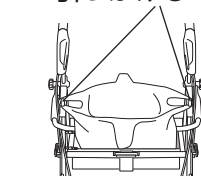


座面バッグ



座面部分を押しこむ

- ②袋の持ち手を両側のフックに引っかける

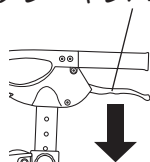


座面バッグに袋を収める

座面の座りかた

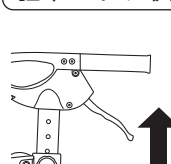
- ①左右のブレーキレバーを押し下げて、駐車ロックをかけます。
- ②座面バッグのファスナーが閉じていることを確認し、座面に座ります。

ブレーキレバー



下げる

駐車ロック状態



※ブレーキレバーを上げると、駐車ロックが解除されます。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前の

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

警告



折りたたみレバーに過度に体を預けて
寄りかからないこと

後方へ転倒する原因になります。



座面に浅く座らないこと
また、座面以外のところには座らないこと

本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。

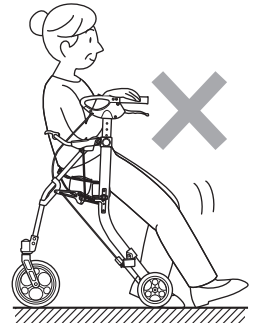


折りたたみレバーに過度に体を預ける状況例

- ① 後方の物を取ろうとして
折りたたみレバーに
寄りかかる。



- ② 折りたたみレバーに
寄りかかり、足を使って
歩行車を動かす。

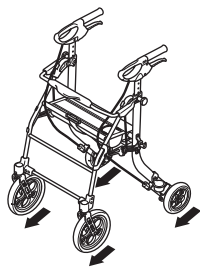


座面に座るときは、前輪の向きが2輪とも、後輪と同じ方向を向いている
状態で着座していただくことを推奨します。

着座前に、前輪が推奨する状態になっていない場合は、本体を前方に
動かすことで、前輪の向きを変えることができます。

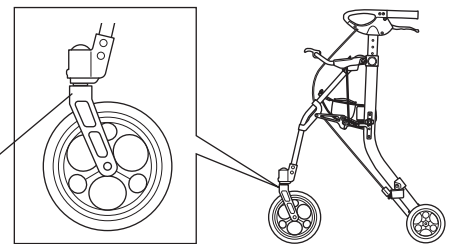
座るときに推奨する前輪の向き

前輪が2輪とも
後輪と同じ方向を
向いている



前輪フォークが
右図の状態に
なっている

前輪フォーク



着座前に前輪を推奨する状態にする方法

着座する前に、製品を前方に動かすと、
前輪が回転して推奨する向きに変えることができます。

前方に
動かす



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

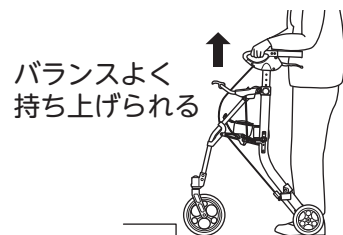
困ったときには

使いまししょう

持ち上げかた

低い段差で本体を持ち上げる場合

ハンドル基部にある持ち上げグリップを持って本体を持ち上げてください。
バランスよく本体を持ち上げることができます。
持ち上げたあとは、必ずハンドलगリップを持って使用してください。

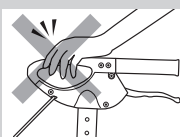


警告



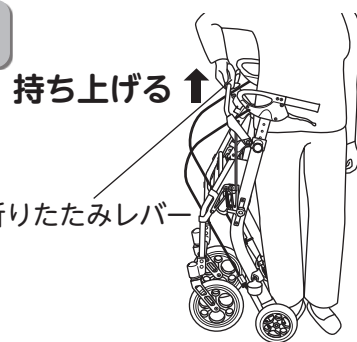
ハンドलगリップ以外の場所を持って歩行しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



階段や高い段差で本体を持ち上げる場合①

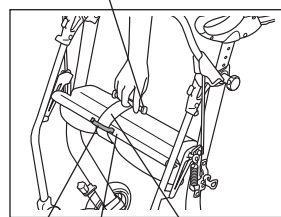
折りたたんだ状態で、折りたたみレバーを持って、本体を持ち上げてください。



階段や高い段差で本体を持ち上げる場合②

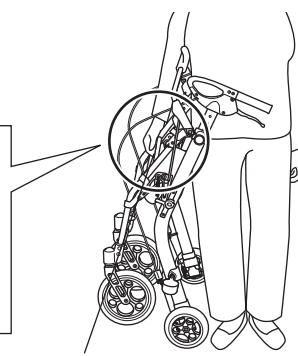
①折りたたんだ状態で、座面ベルトストッパー（赤色）をつかんで、座面ベルトを手前に引っ張ってください。

座面ベルトストッパー



赤い印 座面ベルト
座面パイプ前

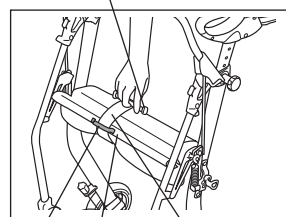
②座面バッグに付いている赤い箇所を目印に、座面パイプ前ごと本体を持ち上げます。



車に積み込む際など、高い位置まで本体を持ち上げる場合

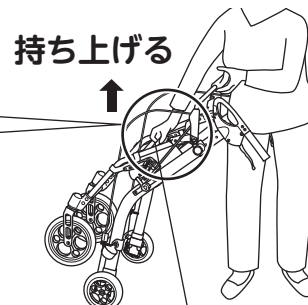
①折りたたんだ状態で、座面ベルトストッパー（赤色）をつかんで、座面ベルトを手前に引っ張ってください。

座面ベルトストッパー



赤い印 座面ベルト
座面パイプ前

②座面バッグに付いている赤い箇所を目印に、座面パイプ前ごと本体を持ち上げます。



座面パイプ前ごと
本体をつかんで持ち上げる

確認しまししょう

安全上の注意

使用前の注意

使いまししょう

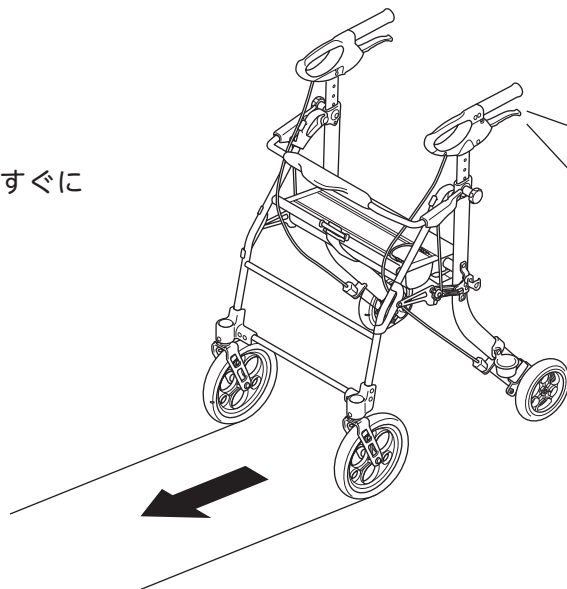
お手入れしまししょう

困ったときには

ご使用になる前に確認しましょう(点検)

使用前に、作動を確認してください

ガタつきなくまっすぐに
走ること



ブレーキ、駐車ロックが
左右両輪とも正しく作動
すること

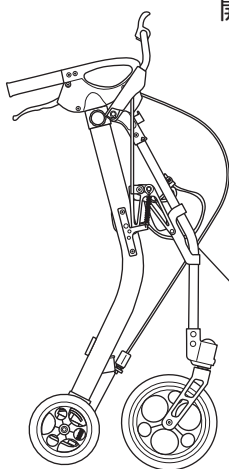
駐車ロックして座面バッグに
座り、ロックのきき具合を確認
すること

各車輪がしっかりと固定され、
スムーズに回転すること

使用前に、必ず本体に異常がないかを確認してください

座面バッグが外れてい
ないこと

本体が完全に
開いていること



折りたたんで開くことができること
折りたたんだ状態で自立していること

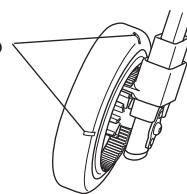
ハンドルグリップが左右
同じ高さであること

左右の高さ調節ノブボ
ルトがゆるんでいない
こと

杖ホルダー上/下を固
定している杖ホルダー
固定ネジがゆるんで
いないこと

タイヤおよびブレーキに
摩耗がないこと

溝が残っている



不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」まで
ご相談ください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

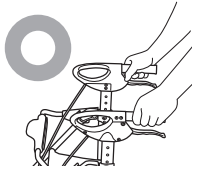
♡ 使いましょう

最大使用者体重は 100kgです。

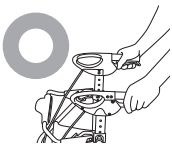
押して歩くとき

以下のことに注意してご使用ください。

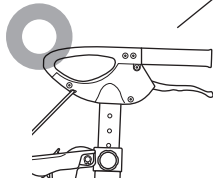
ハンドルグリップは両手で操作すること



ブレーキは左右同時にかけること



歩行時は駐車ロックが解除されていること



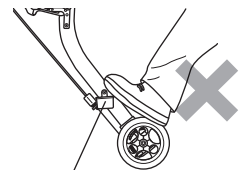
後ろ向きに押さないこと

歩いて使用すること

ハンドルグリップに寄りかかったり、全体重をかけるような過度の荷重をかけないこと



杖ホルダー下に足をかけないこと



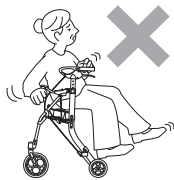
杖ホルダー下



腰かけるとき

以下のことに注意してご使用ください。

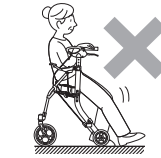
折りたたみレバーに体を預けて寄りかからないこと



折りたたみレバーに体を預ける状況例



後方の物を取ろうとして折りたたみレバーに寄りかかる。

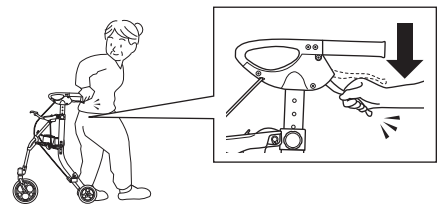


折りたたみレバーに寄りかかり、足を使って歩行車を動かす。

駐車ロックは必ず左右かけること

以下のときは必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること

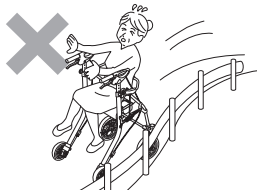
- 本体からはなれるとき
- 座面バッグに座るとき
- 座面バッグから立ち上がる時



※座面バッグに座るときは、ハンドルグリップに体が当り、本体が動き出さないよう、注意してください。

傾斜地では腰かけないこと

本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



平坦で安定した場所で座ってください。

座面には深く座ること

浅く座ると本体が移動する可能性があります。

また、座面以外のところには座らないでください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

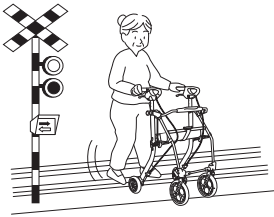
お手入れしましょう

困ったときには

ご使用いただける環境について

以下の環境では、十分に注意して使用してください。

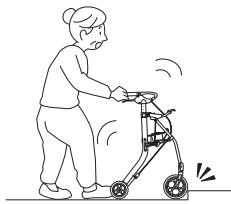
■急な坂道、踏切の横断



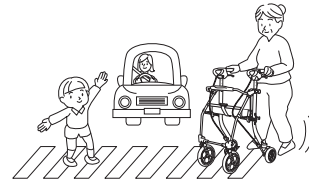
■段差および溝のあるところ

段差の手前では必ず止まり、十分に注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルグリップをとられたり、段差に乗り上がらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



■交通の頻繁なところ、混雑しているところ

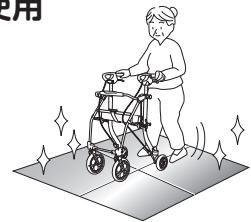


■夜間など、見通しの悪い環境



■滑りやすい床での使用

- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など

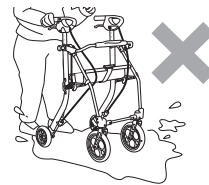


以下の環境では、使用しないでください。

■雨、雪の日など、路面が滑りやすい時は使用しないこと

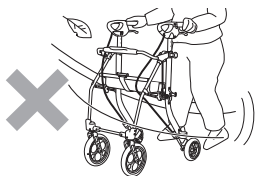


■砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと

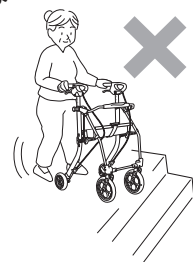


■風が強い時は使用しないこと

本体が勝手に動きだす原因になります。



■階段やエスカレーターでは使用しないこと



確認しましょう

！安全上のご注意ください

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

🔴 お手入れしましょう

下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

🔴 確認しましょう

警告



分解禁止

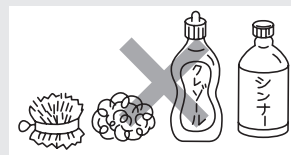
改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの



製品が劣化し、破損の原因になります。

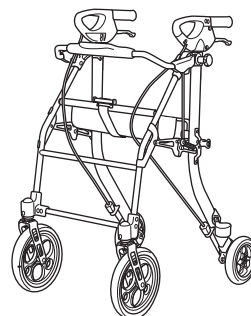
⚠️ 安全上の「注意」

✖️ ご使用の前に

お手入れのしかた

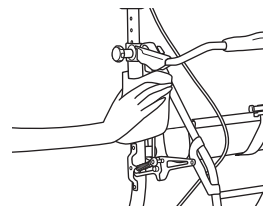
日常のお手入れ方法

※汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れをふきとり、その後、水で濡らした布で洗剤をふきとり、よく乾かしてください。



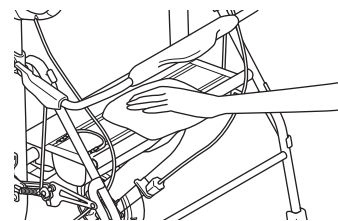
金属部分・樹脂部分

- 雨などでぬれた場合は、乾いた布でふきとってください。
- 泥やほこりがついた場合は、水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、乾いた布でふいてください。



座面バッグ

- 水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、よく乾かしてください。
- 使用後はバッグ内部に水気が残らないよう、乾いた布でよくふきとってください。



🔴 使いましょう

🔴 お手入れしましょう

❓ 困ったときには

保管時の注意

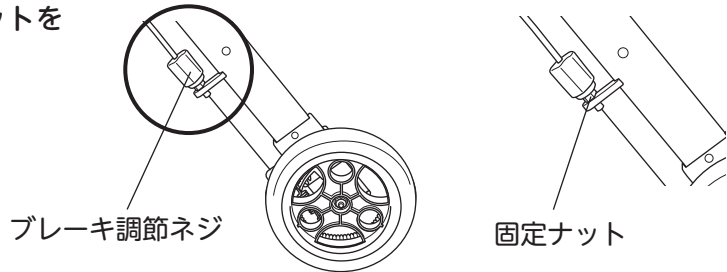
「安全上のご注意」をご確認ください。

← 詳しくは…P. 8へ

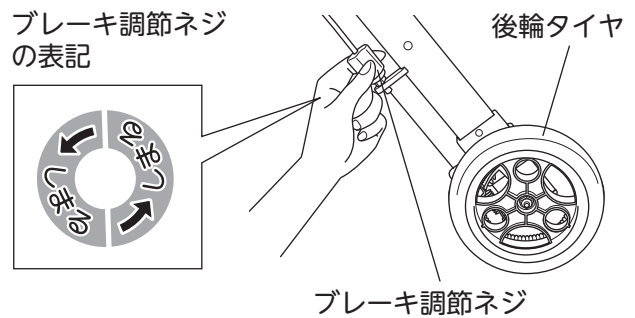
ブレーキの調節方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキパッドの位置を調節してください。

- ① 10mm のスパナを使って固定ナットをゆるめます。

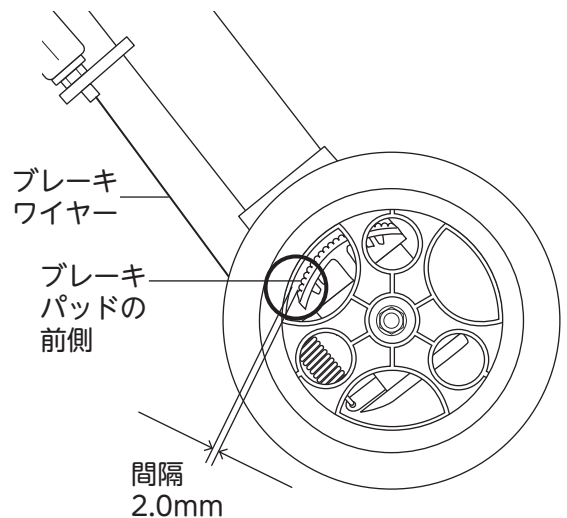


- ② ブレーキ調節ネジを後輪タイヤ側に押し込み、シールの表記に従って、ブレーキ調節ネジを回します。



- ③ ブレーキパッド前側と後輪ホイール内面の間隔が 2.0mm になるように調節してください。間隔が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して、調節してください。

※ブレーキパッドと後輪ホイールの間隔は、構造上、一定の間隔に調節することができません。ブレーキパッドの間隔を調節する際は、必ずブレーキパッド前側の間隔が 2mm になるように調節してください。ブレーキパッドの前側は、右図の太丸枠で表示している位置になります。



- ④ 固定ナットを元の位置までしめつけます。

消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

注意



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと
製品が破損する原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

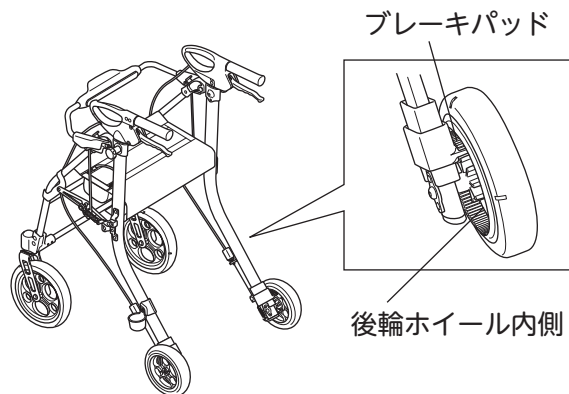
困ったときには

🔧 お手入れしましょう

注油について

きしみ音が発生したり作動が鈍い時は、泥や汚れをふきとってから原因の箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。

後輪ホイールの内側や、ブレーキパッドに油がつかないように注意し、付着した場合はよくふきとってください。

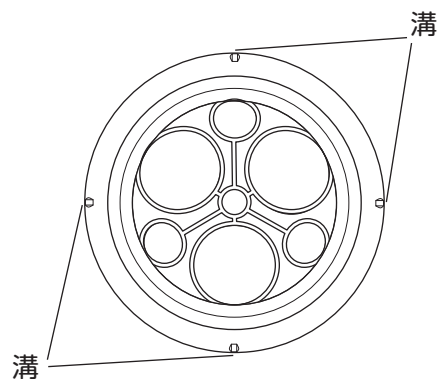


タイヤ交換時期の目安

タイヤ内側に4ヶ所あるタイヤ交換サインの溝が1ヶ所でも削れて見えなくなったときに交換時期です。

※タイヤ交換サインは摩耗による交換時期の目安です。長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、タイヤ交換サインの状態にかかわらず、ただちに交換してください。

※タイヤ交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

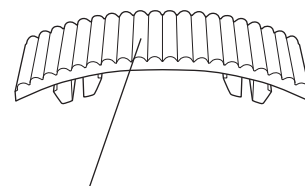


ブレーキパッド交換時期の目安

ブレーキパッドの凸部がすり減ってなくなっていたら交換時期です。

※長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、凸部のすり減り状態にかかわらず、ただちに交換してください。

※ブレーキパッド交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



凸がすり減ってなくなっていたら交換

🔍 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

✖️ 使用前に

👉 使いましゅう

🔧 お手入れしましゅう

❓ 困ったときには

? 困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎ 0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

※本製品をほかの方にお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) タイヤなど消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★販売店	住所 〒
	店名 TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

 TOAGOSEI グループ

 アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

ライフサポート事業部

21.06 919237